

# 平成 27 年度事業報告書

公益財団法人 兵庫県国際交流協会

## V 事業報告

### 1 多文化共生社会の実現

外国人児童生徒の学習や地域社会への参画等にかかる課題を解決するとともに、外国人県民が安全で安心して暮らせる社会づくりを進める事業を実施した。

#### (1) 外国人児童生徒への学習支援

##### ① 外国人児童生徒の居場所づくり事業(27 決算額 6,383千円)

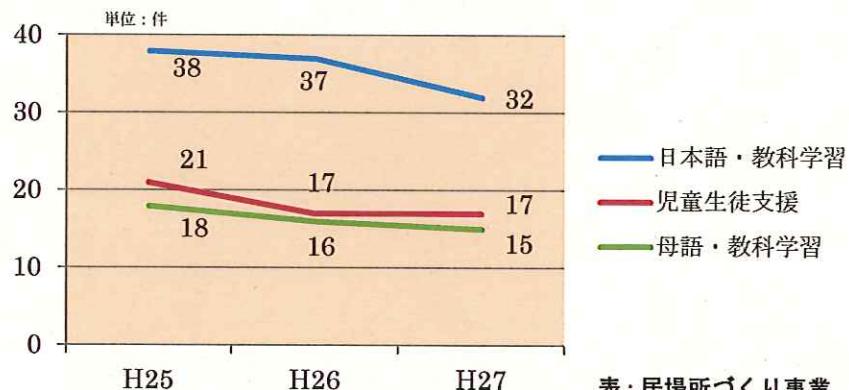
※決算額については、事業総額により記載

#### 【実施状況】

外国人児童生徒に対する日本語・教科学習支援、母語・教科学習支援、その他の活動支援を地域の団体と協働実施



写真：母語教室（神戸市内）



#### 【事業評価】

実績	○日本語・教科学習教室 (進学に向けた教科学習集中支援教室を含む) ○母語・教科学習教室 ○その他児童生徒支援 内訳　・先輩に聞こう ・こころと進路のカウンセリング ・活動支援	32講座（計画31講座） 15講座（計画15講座） 17事業（計画25事業） 3事業（計画5事業） 5事業（計画10事業） 9事業（計画10事業）
	○日本語・教科学習教室、母語・教科学習教室は計画を達成 外国人児童生徒のための日本語・教科学習教室と母語・教科学習教室は計画数を達成しており、県内各地における支援体制の整備に寄与。 ○外国人児童生徒の居場所としての機能強化が課題 当事業は、外国人児童生徒の日本語や母語、教科学習支援を基本に、児童生徒による自主イベント、進路や悩みに関するカウンセリング等を実施し、地域のボランティアによる教室が居場所機能を担うことを意図している。これら追加的事業は、団体への広報不足等により、計画を下回ったが、教室実施団体対象の説明会を企画し、他団体の成功事例等の情報共有を図る等により、引き続き、制度の機能強化を図っていく。	

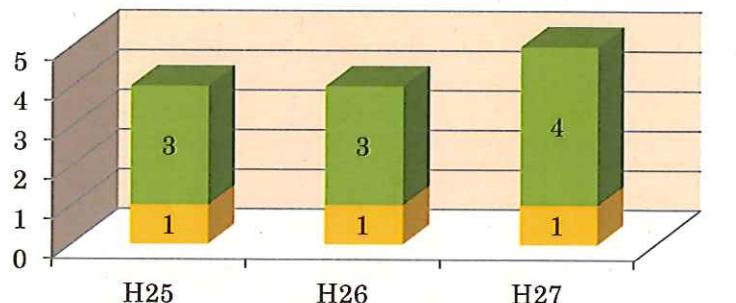
② 外国人児童生徒への日本語・学習支援者の育成(27 決算額 336千円)

【実施状況】

外国人児童生徒に対する日本語・学習支援者の養成及び団体への運営支援を実施



写真：養成講座



■ 日本語・学習支援者養成講座開催回数 ■ アドバイザー派遣団体数

【事業評価】

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本語・学習支援者養成講座 1講座（計画 1講座）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 1月9日</li> <li>・会場 国際健康開発センター</li> <li>・参加者 I部86名、第II部78名</li> <li>・演題及び講師               <ul style="list-style-type: none"> <li>第I部 「『外国につながる子どもがいるからこそ』の教育実践とは～つまずきを探る過程をとおして～」 結城 恵 群馬大学 教育基盤センター 教授</li> <li>第II部 「『読む・書く』の指導方法を考える～小学校での実践例をとおして～」 伊藤 敦子 小牧市立大城小学校 日本語適応指導教室教諭</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日本語・学習支援アドバイザーの派遣 4箇所（計画 2箇所）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施箇所 明石市(8月)、芦屋市・三田市(10月)、神戸市 (11月) 延べ52名参加</li> </ul> </li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○増大する外国人児童生徒への支援ニーズに対応           <p>日本語学習や教科学習支援を必要とする外国人児童生徒が増加しており、地域日本語教室へのアドバイザー派遣は、計画を上回って実施した。また、教育現場の実践例を中心とした支援者養成講座は多数の参加者を得ることができ、好評であったため、よりニーズに応じた演題及び講師の選定に努め、継続していく。</p> </li> </ul>

③ 母語教育支援研修会の開催(27 決算額 191千円)

【実施状況】

県内母語教育関係者を対象に母語教育への理解を深める研修会を開催

【事業評価】

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○母語教育支援研修会の実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>【第1回】               <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 7月25日</li> <li>・会場 国際健康開発センター</li> <li>・参加者 47名</li> <li>・演題及び講師                   <ul style="list-style-type: none"> <li>「子どもの母語・母文化を尊重した支援とは～学校や地域でのサポートのヒント～」 富本潤子 IAPE（外国人児童生徒保護者交流会）代表</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>【第2回】</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>実施日 11月17日</li> <li>会場 国際健康開発センター</li> <li>参加者 38名</li> <li>演題及び講師 「母語・継承語に自信をもてるように～絵本をなかだちにした活動を通じて～」 村上自子 NPO法人おおさかこども多文化センター理事長 梨木亜紀 同 事務局員</li> </ul>
評価	<p>○母語教育の広がりを促すための実践事例を紹介 実際の事例を紹介することで母語教育の取り組みが広がるよう、母語教室代表者など、外国人児童生徒の教育支援に豊富な経験を有する実践者を講師に選定した。</p> <p>○研修効果を高める参加型研修 外国人児童生徒と接する学校関係者、行政職員、ボランティア支援者等日頃から母語教育の必要性や支援方法に关心を持つ方を対象に、グループ討論やロールプレイなど、聴講するだけではなく、自ら思考し、相互に意見交換と情報共有ができるような工夫を取り入れた。これらの結果、参加者からは、「具体的な実践報告が役立った」、「様々な立場の人たちとの出会いが参考になった」と肯定的な意見が寄せられ、有意義な研修会を開催することができた。</p>

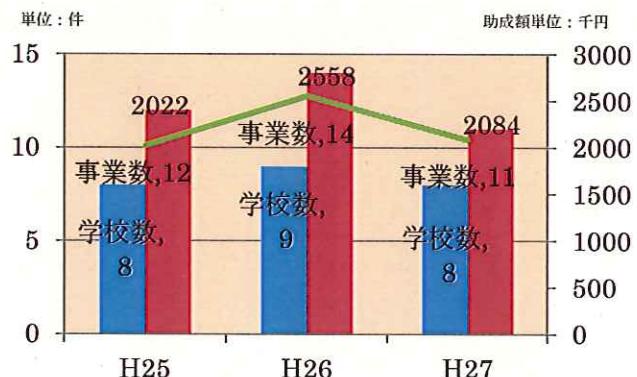
#### ④ 外国人学校交流推進事業(27 決算額 2,087千円)

##### 【実施状況】

県内外外国人学校が行う自然学習活動に対する助成を実施



写真：あまごつかみ体験



表：助成実績推移

##### 【事業評価】

実績	○助成件数 11件 2,084,000円 (計画 15件)
評価	○外国人児童生徒と地域住民との交流、兵庫県への理解促進に寄与 県内外外国人学校12校のうち、申請のあった全8校に助成（3校は幼児教育中心または高等学校であるため制度対象外。1校は隔年実施のため、27年度計画なし）。当該事業は、外国人学校に通う児童生徒に普段訪れることが多い多自然地域を訪問し、野外体験や地域の人々との交流を通じて兵庫県への理解を深める機会を提供した。

#### (2) 日本語教育の推進

##### ① 日本語教育指導員等の配置(27 決算額 13,596 千円)

##### 【実施状況】

日本語教室の運営、日本語教育に対する相談・指導・助言を行う日本語教師を配置

**【事業評価】**

実績	○日本語教育指導員、日本語教育補助員、生活日本語推進員 各1名
評価	○日本語教育専門職員の配置による日本語教育の推進 日本語教育専門職員を配置し、外国人県民のための日本語講座を主催するほか、地域日本語教室への運営支援や人材育成を推進しており、地域日本語教育の振興を担う当協会には必要な人員配置である。

**② 外国人県民日本語講座の開催(27 決算額 4,282千円)**

**【実施状況】**

外国人県民の日本語能力向上のため、年間を通して日本語講座を開設・運営



写真：講座の様子



表：延べ受講者数・修了率推移

※出席率が 70%以上の者に修了証書を授与。

**【事業評価】**

実績	○外国人県民日本語講座の実施 基本週2日（32時間／期）、時間帯：18:30～20:30、 クラス数：8（初級（5）、初中級（1）、中級（2））、受講料：2千円／期 ・第1期 5月11日～7月3日 受講者137名（定員160名） ・第2期 10月5日～12月3日 受講者148名（定員160名） ・第3期 1月7日～3月7日 受講者127名（定員160名）
評価	○時勢に適合した日本語講座を提供 安価で質の高い講座として、昨年度同様、安定した受講者を得た。日本語の基礎力を育む文型学習中心の当講座と実用的な日本語を学習する「すぐに役立つ日本語講座」を有機的に実施することにより、日本語の基礎力と生活で生かす実用力の双方のニーズに対応しているが、年間を通じると過密な開講状況となっていることから、期の統合等講座数の見直しを図っていく。

**③ 「すぐに役立つ日本語講座」(夏期集中講座) の開催(27 決算額 816千円)**

**【実施状況】**

日常生活で役立つ日本語を優先効率的に学習したいというニーズに対応するため、生活場面と密着したコミュニケーション能力の習得に資する講座を夏期に開設



写真：切符購入練習の様子

### 【事業評価】

実績	<p>○夏期集中講座（「すぐに役立つ日本語講座」）の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・期間 7月10日～8月7日（20日間）</li> <li>・時間数 60時間</li> <li>・受講者数 28名（計画30名）</li> <li>・受講料 4,000円／期</li> </ul>
評価	<p>○講座内容の改良に向けた検討を継続</p> <p>この夏期集中講座は、日常生活で役立つ日本語と生活知識を併せて学習することで対処能力の養成を目指す点に特色があり、社会とつながる日本語教育の先進的取り組みである。28年度は、多言語化したオリジナル教材や副教材を活用することでさらに実践的な講座として内容充実を図る。</p>

### ④ 「すぐに役立つ日本語」普及推進事業(27決算額 2,142千円)【27新規】

#### 【実施状況】

〈自治体国際化協会助成〉

実際の生活場面で生かせる実用的な日本語教育を推進するため、前年度に着手した教材開発を完了するとともに、研修会を開催し、地域日本語教室での普及を促進



写真：オリジナル教材（ベトナム語・スペイン語・ポルトガル語版）

写真：副教材

### 【事業評価】

実績	<p>○オリジナル教材の多言語版の作成と普及促進のための研修会を開催</p> <p>前年度、「すぐに役立つ日本語」の普及推進のために主催講座の開始に併せて開発し、地域日本語教室を中心に配布したオリジナルテキスト（英語、中国語版）について、27年度は、多言語化（ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語（データのみ）版）を行うとともに、副教材を完成し、県内3箇所（洲本市（10月）、豊岡市（11月）、三田市（2月））で研修会を開催した。</p>
評価	<p>○「すぐに役立つ日本語」HIAオリジナル教材一式が完成</p> <p>テキストの多言語化（英語、中国語、ベトナム語、スペイン語、ポルトガル語版）と副教材「わたしの生活ノート」の完成により、学習者が利用しやすい環境が整った。</p> <p>今後も「すぐに役立つ日本語」教育を普及促進していくために、主催講座や研修会、アドバイザー派遣等でオリジナル教材を活用していく。</p>

**⑤ 外国人県民の居場所づくり：地域日本語教室支援(27 決算額 6,132千円)**  
**【実施状況】**

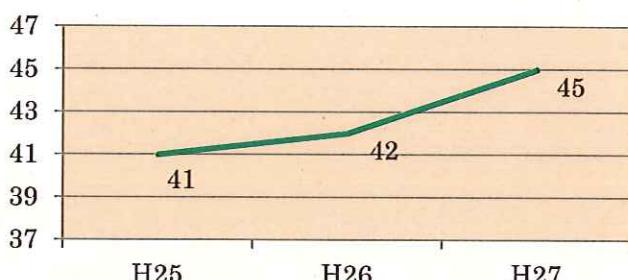
基礎的な日本語学習を必要とする外国人県民に対して日本語会話、識字能力を付与することを目的とした講座を地域団体と協働で開設



写真：地域日本語教室（神戸市内）

単位：件

表：講座数推移



**【事業評価】**

<b>実績</b>	○講座数 45講座 (計画 45講座)
<b>評価</b>	<p>○県内各地で多文化共生拠点としての日本語教室を整備 地域のボランティア団体等と協働して外国人県民の居場所となる日本語教室を県内各地で展開し、教室での日本語学習に加え、季節の行事、料理教室、地域イベントへの参加など、団体毎に工夫を凝らした活動に取り組んだ。</p> <p>これらの活動は外国人県民の日本語学習や教室参加意欲の向上につながると好評であり、地域日本語教室が多文化共生の拠点としての役割を果たすことにつながっている。</p>

**⑥ セーフティネットとしての地域日本語教室開設(27 決算額 569千円)**

**【実施状況】**

日本語教室の未設置市町・同国際交流協会等と連携し、緊急時には安否確認や情報提供等を併せて行うことができる、セーフティネットとしての日本語教室の設置を推進



写真 左：日本語教室（新温泉町）



右：交流会（多可町）

**【事業評価】**

<b>実績</b>	○実施箇所 神河町 (計画1箇所)
<b>評価</b>	<p>○日本語教室未設置市町の解消が進み、間もなく目標を達成 平成23年度時点で日本語教室がなかった9市町と順次協働に取り組み、日本語教室を開設。27年度は、神河町と協働事業に着手。新温泉町については、引き続き、定期的な教室の運営を支援していく。</p>

**(7) 地域日本語教室のセーフティネット機能充実事業(27 決算額 206千円)【27新規】**  
**【実施状況】**

地域日本語教室は多文化共生の最前線であり、間もなく県内の全ての市町に教室が設置されようとしていることから、多文化共生の現状と課題、地域日本語教室の役割、コミュニケーション手段として有効なやさしい日本語について学ぶための研修会を開催

**【事業評価】**

<b>実績</b>	<p>○研修会「多文化共生のこれからーともに築く地域社会に向けて」を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日 12月5日 会場 国際健康開発センター</li> <li>・参加者 I部44名、第II部47名</li> <li>・演題及び講師            第I部 「地域における多文化共生ー多文化共生の現状と地域日本語教室への期待」            田村 太郎 多文化共生センター大阪 代表理事            第II部 「人と地域を結ぶやさしい日本語ー日常の生活場面で使ってみよう」            土井 佳彦 多文化共生リソースセンター東海代表理事         </li> </ul>
<b>評価</b>	<p>○実践に役立つ研修会として高い満足度を達成</p> <p>27年度は、多文化共生の理念が広まった阪神・淡路大震災から20年、総務省が「地域における多文化共生推進プラン」を策定してから10年が経過する節目にあたるため、単年度事業として実施した。</p> <p>地域日本語教室では、教室開設の基盤となる考え方の普及啓発や具体的な教室運営のノウハウの蓄積が十分ではないため、ニーズに応えた実践的な研修会として参加者から好評を得た。</p>

**(8) 日本語学習支援ボランティアの育成(27 決算額 358千円)**

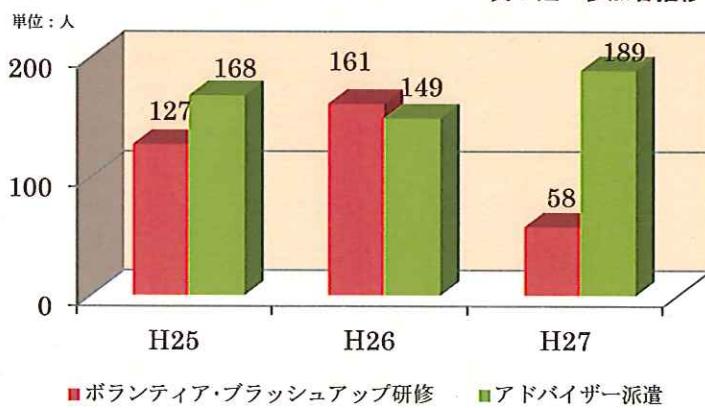
**【実施状況】**

外国人県民に対する日本語学習支援者の養成及び団体への助言



写真：養成講座（たつの市）

表：延べ参加者推移



**【事業評価】**

<b>実績</b>	<p>○日本語学習支援ボランティアの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本語学習支援ボランティア・プラッシュアップ研修 2箇所（計画 3箇所）            播磨町（10月、12月）、養父市（11月） 延べ58名参加         </li> <li>・日本語学習支援アドバイザーの派遣 9箇所（計画 6箇所）            宍粟市（7月）、伊丹市（8・9月）、猪名川町（9月）、            神戸市（9・10・11月）、豊岡市（2月）、たつの市（2月）            延べ189名参加         </li> </ul>
-----------	---

評価	<p>○日本語学習支援ボランティアのスキルアップや問題解決に貢献  アドバイザー派遣は計画回数以上を派遣。ブラッシュアップ研修は、選定団体の都合により1箇所が中止になったため、計画数を達成できなかった。</p> <p>研修機会の少ない地域日本語教室では、支援者のスキルアップやリーダー人材の不足が課題となっており、団体運営の改善等に役立つ研修等のニーズが高いため、引き続き本事業に注力するとともに、今後は人材育成のニーズに応じた体系的な研修も企画していく。</p>
----	--

## ⑨ 日本語教育研修会の開催(27 決算額 218千円)

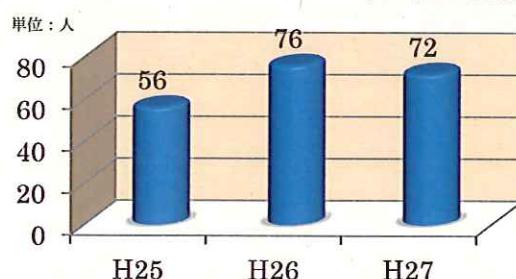
### 【実施状況】

日本語教師や日本語学習支援ボランティア、学校関係者等を対象に、日本語教育についての理解を深めるための研修会を開催



写真：講演会の様子

表：参加者推移



### 【事業評価】

実績	<p>○日本語教育研修会の実施  ・実施日 3月5日 ・会場 国際健康開発センター  ・参加者 72名  ・演題及び講師  「学習者も支援者も共に学ぶ日本語学習支援とは？～人とつながる日本語学習は楽しい！～」  嶋田 和子（一社）アクラス日本語教育研究所代表理事</p>
評価	<p>○地域日本語教室での活動に役立つ研修会を開催  日本語教師や日本語学習支援ボランティア等を対象に、日本語教育についての理解を深めるために、日本語学習を通した社会参加や人のつながりをテーマとして研修会を開催した。  県内日本語教育関係者にとって有意義で役立つ研鑽の場として定評を得ており、今後とも現場のニーズに応じた適切な演題及び講師を選定し、効果の高い研修会を開催していく。</p>

### (3) 外国人県民への生活支援

#### ① 外国人県民インフォメーションセンターの運営(27 決算額 25,049千円)

##### 【実施状況】

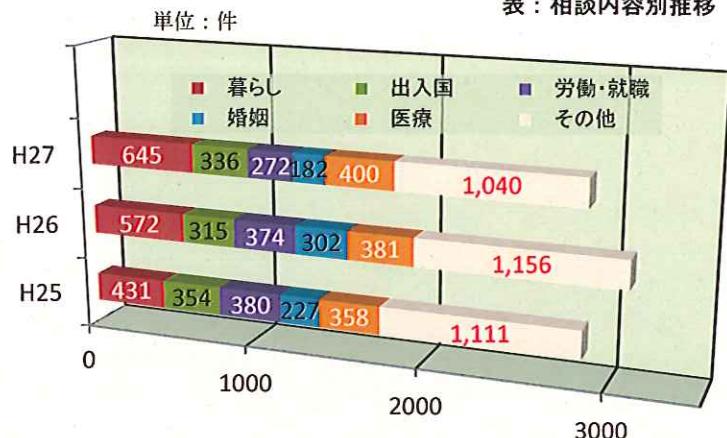
外国人県民生活相談の実施

外国人県民の日常生活の多様な相談に応じるため、4言語による相談員及び専門相談員による生活相談を実施



写真：センター内

表：相談内容別推移



##### 【事業評価】

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活相談及び法律相談の実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>・生活相談 相談員5名（英語、中国語、ポルトガル語各1、スペイン語2）</li> <li>・法律相談 弁護士（兵庫県弁護士会所属 週1回）</li> </ul> </li> <li>○相談件数 2,875件（26年度3,100件）</li> <li>○ブログによる支援・生活情報の提供           <ul style="list-style-type: none"> <li>・閲覧数 267件、訪問者数 93.4人（H28.3.27～4.2の1日当たり平均）</li> </ul> </li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係機関との連携強化による相談体制の充実           <p>相談件数は前年度比7.3%減少しているが、「交通事故相談」が対前年度比121.7%で法律相談や県民総合相談センターなど専門相談を希望する相談者が増加した。</p> <p>相談内容は前年度同様「暮らし」、「医療」、「出入国」の順に多く、内容は多岐にわたっているため、公的機関や外国人県民の生活に関連のある機関など36団体で構成する「外国人県民相談ネットワーク推進会議」を開催するなど関係機関との連携を深め、情報を共有しながら迅速な問題解決に努めている。法律相談については、相談枠があるためHIAのホームページで法律相談の予約受付状況の周知を行っている。</p> </li> <li>○外国人支援のための情報提供           <p>外国人県民支援をしている団体や支援者が外国人県民をサポートする際、参考になる情報「兵庫県外国人県民インフォメーションセンター便り」というブログを作成し、関係機関などの情報発信元のリンクを貼りHIAのホームページ上で提供している。</p> </li> </ul>

② NGOと連携した外国人県民相談活動の実施(27 決算額 2,454千円)

【実施状況】

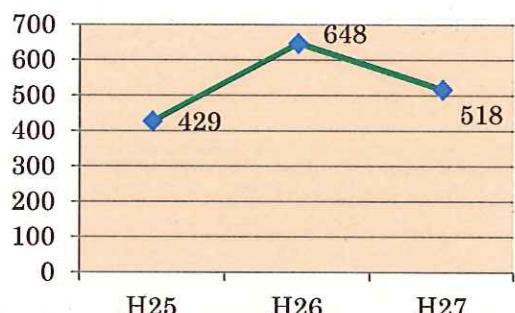
NGO等と連携した夜間及び休日等の相談を実施



写真：相談の様子

単位：件

表：相談件数推移



【事業評価】

実績	○実施団体 3団体 計 518件 (計画 3団体) ・NGO 神戸外国人救援ネット 198件 (英語・スペイン語・ポルトガル語・タガログ語) ・特定非営利活動法人篠山国際理解センター 115件 (英語・中国語・ポルトガル語・タガログ語) ・ひめじ発世界 205件 (英語・中国語・スペイン語・ポルトガル語・ベトナム語)
評価	○相談件数は前年度同期比で減少。ただし、相談内容は複雑・専門化 県のインフォメーションセンターで対応できない言語や時間帯の相 談に応じており、日本語力や生活知識が不十分な外国人県民の安全・安 心の構築の一翼を担った。 一部言語の確保が困難な地域もあることから設置場所の見直しを行 う必要があるが、定住化の進行とともに生活に根ざした複雑な案件や専 門家の支援が必要な案件が増加しており、引き続き、相談活動に取り組 む必要がある。

③ 多言語生活ガイドホームページの運営(27 決算額 他事業で計上)

【実施状況】

外国人県民が日本で生活する上での生活情報を掲載した多言語生活情報ガイドホー  
ムページを運営

【事業評価】

実績	○10言語による生活情報の掲載 (計画 10言語) (日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、 スペイン語、ベトナム語、タガログ語、インドネシア語、タイ語)
評価	○さらなる内容充実が課題 県内の医療機関や日本語教室、外国人相談窓口のリストを人口の多い 主要10言語で掲載しているが、時宜を得た更新によりさらに内容の充実 を図り、閲覧者の利便性の向上に努める必要がある。

④ 外国人県民生活サポート活動の支援(27 決算額 3,602千円)

【実施状況】

外国人コミュニティによる生活相談や情報提供などの生活支援活動、子どもに対する母語教室の開催等を支援



写真 母語教室の様子

【事業評価】

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○支援団体 3団体（計画 3団体）           <ul style="list-style-type: none"> <li>・ベトナム夢 KOBE (母語・母文化教室、生活相談、情報誌発行等)</li> <li>・NPO 法人関西ブラジル人コミュニティ CBK (母語・母文化教室、情報誌発行等)</li> <li>・ひょうごラテンコミュニティ (母語・母文化教室、生活相談、情報誌発行等)</li> </ul> </li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○外国人コミュニティの活動充実に必要不可欠な支援 各コミュニティは小規模団体ながら、子どもに対する母語・母文化教室の開催、生活相談や母国の祭り等のイベント実施、情報誌の発行等、自らのネットワークを生かし、外国人コミュニティだからこそできる活動に取り組んでおり、こうした活動を支援した。 外国人県民にとってコミュニティを通じた生活支援等の効果は高く、必要性が高いことから、引き続き、その活動充実を支援していく。</li> </ul>

⑤ 多文化共生を考える研修会の開催(27 決算額 1,313千円)

【実施状況】

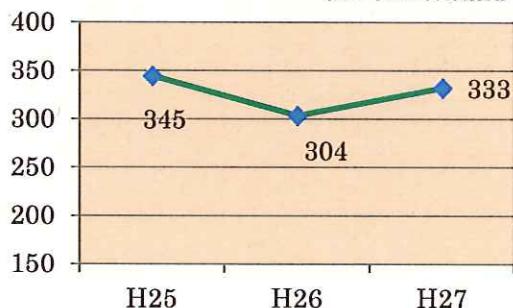
多文化共生について理解を深めることができる研修会をN P Oと協働で開催



写真：研修会の様子

単位：人

表：参加者数推移



【事業評価】

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多文化共生を考える研修会の実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：8月19日、21日、26日、28日の4日間 （計画 4日）</li> <li>・参加者：延べ333名</li> <li>・会場：国際健康開発センター、海外移住と文化の交流センター</li> <li>・内容：① 総論～“他”文化との共生～ ② 外国にルーツを持つ子どもの教育 ③ 「多文化共生」をめぐる世界の動向 ④ 異文化と生きる～ムスリムを知るフィールドワーク～</li> </ul> </li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他団体と連携し、タイムリーで多彩なテーマで研修を実施 講師として国内外の学識者やジャーナリスト、NPO関係者等を招聘し、多文化共生について様々な視点から学び、理解を深めるための研修会を</li> </ul>

	<p>NPO、県、教育委員会等と共に開催した。平成27年は、戦後70年の節目に当たることから中国残留孤児に関する講演を交えたり、報道が盛んなイスラム教やイスラム諸国の文化について学ぶため、近隣のモスクへのフィールドワークを組み込むなど、タイムリーな題材を取り上げ、参加者の関心を高めるよう工夫した。</p> <p>例年安定した参加者数を確保しており、今回も「価値観を変え、多様性を受け入れ、対応することが急務だと思う」、「多文化化の難しさや課題がよく分かった」等の感想が寄せられるなど、一連の研修が多文化共生社会について思考し、認識を深める契機となっている。</p>
--	---

## 2 交流人口の拡大

草の根による国際交流や国際会議の開催、県民の国際理解の促進を通じて、国内外の人的交流を推進し、県民の国際交流を進める事業を実施した。

### (1) 国際交流の推進

- ① ひょうご国際プラザの管理・運営(27 決算額 124,045千円)

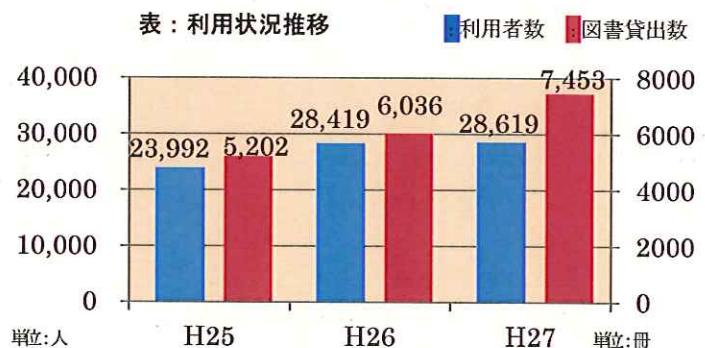
#### 【実施状況】

国際情報センターにおける各種国際関係情報の提供やNGO等と連携した展示など国際交流等の場として設置している「ひょうご国際プラザ」を管理、運営



写真：プラザの様子

表：利用状況推移



写真：イベント(絵本読み聞かせ・グリーティングカードづくり)の様子

#### 【事業評価】

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者数 28,619人</li> <li>○図書貸出数 7,453冊</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○イベント開催による利用者数等の増加</li> </ul> <p>今年度新たな試みとして、プラザの利用を促進するため、夏休み、冬休み期間に、子どもを対象としたイベントを実施した。その参加者が図書館の利用者となるなどにより、図書貸し出し数は大幅に增加了。また、近隣の学校等にもプラザの存在を積極的にPRしたことにより、見学も増えている。今後も様々な機会に利用をPRしていく。</p>

## ② 海外事務所の運営(27 決算額 173,963千円)

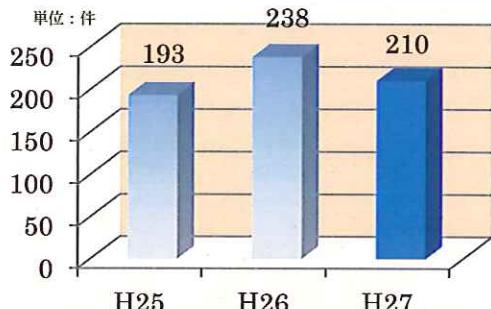
### 【実施状況】

海外における県内企業の海外進出等の支援を行うとともに、学術交流、文化交流など幅広い分野での交流を実施・支援を行うため、海外5事務所（ワシントン州、西オーストラリア州、パリ、ブラジル、香港）を運営



写真：兵庫フェアー(ワシントン州)

表：経済活動報告数



写真：ミラノ万国博覧会（パリ）



写真：パラナ州友好提携45周年記念式典（ブラジル）

### 【事業評価】

実績	○経済活動数 210件 ○県内企業の海外進出等の支援及び観光プロモーション ○姉妹州省との交流や県内各市町姉妹都市提携など幅広い分野での交流を支援 ○事務所における各種交流の実施
評価	○県内企業が海外事務所に進出・販路拡大する際の現地支援を行っており、現地事務所の存在を活かして、県内企業の支援に努めた。 (例：日本酒(ワシントン州ほか)、素麺(西オーストラリア州ほか) また、ミラノ博覧会では、パリ事務所が県の担当部局を支援して県産農畜水産物の輸出やインバウンドの増加プロモーションが実施されるなど、各事務所において様々な県各部局と連携して県産品や県の魅力を発信した。 ○姉妹州省との交流や県内各市町姉妹都市提携など幅広い分野での交流を支援 ブラジル・パラナ州との友好提携45周年記念事業や、中国・海南省との友好提携25周年記念事業の実施にあたり、ブラジル事務所や香港経済交流事務所が現地政府や関係者との調整を行うなど、県と各姉妹州省の交流を支援した。 また、友好交流にとどまらず、上記のような経済交流や観光交流、学校・学術交流、スポーツ交流など各分野における交流を支援し、幅広い分野で実り多い交流の実現を果たした。 ○事務所における各種交流の実施 事務所スペースを活用した県ゆかりの文化人の展覧会事業や日本語教室などを開催。県事務所のプレゼンスをアピールしている。

③ 県民交流団の派遣 (27 決算額 23,492 千円)

ア ブラジル・パラナ州

【実施状況】

兵庫県とパラナ州の姉妹提携 45 周年を記念して現地で開催される周年記念行事や、ブラジル兵庫県人会 55 周年記念式典へ参加して、現地での草の根交流を目的とした県友好訪問団に参画



写真：ブラジル兵庫県人会 55 周年記念式典



写真：リオデジャネイロ市内

【事業評価】

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○訪日日時 8月17日～8月26日（全10日間）</li> <li>○参加者数 30名（計画15名）</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県民交流団員による交流の実施 2016年にオリンピックが開催されるリオデジャネイロを訪問し、熱気を体験。その後、パラナ州政府との共同声明調印式及び記念レセプションに参加し、州政府関係者と交流を行った。また、ブラジル兵庫県人会の記念式典へ参加し、関係者との交流を行ったほか、現地の農家やイビラプエラ公園にあるブラジルで亡くなった開拓者をしのんだ「開拓先没者慰靈碑」等を訪問。日系人の移民の歴史について理解を深めるとともに、草の根の交流を展開した。</li> <li>○草の根交流の展開 参加者からは、「ブラジルの兵庫県人会の方から移住の苦労話を伺えて良かった。もっとお聞きしたかった」など、現地の方々との交流事業を評価し、交流機会のさらなる増加を希望する感想が多数寄せられた。今後も、県民交流団にふさわしい現地交流プログラムの一層の充実、拡大に努め、草の根交流を推進していく。</li> </ul>

イ 韓国・慶尚南道

【実施状況】

平成 24 年に兵庫県と慶尚南道が交わした覚書に沿って友好交流を推進するため、県民交流団を派遣。現地で開催された交流会への参加などの草の根交流を目的として実施



写真：記念レセプション



写真：現地学生との交流

**【事業評価】**

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○訪日日時 9月20日～9月22日（全3日間）</li> <li>○参加者数 21名（計画15名）</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県民交流団員による交流の実施 慶尚南道との友好交流を促進するため、慶尚南道友好促進事業実行委員会（兵庫県、伊丹市、在日韓国関係団体等）に参画し、県民交流団を派遣。慶尚南道政府主催の記念レセプションへ参加し、慶尚南道政府関係者との交流を行った。さらに、世界遺産「海印寺」などの見学を通じて韓国の歴史を学ぶとともに、現地の日本語を学ぶ学生との交流を行うなど、草の根の交流を展開した。 また、県友好訪問団参加者は全体で152名となったことから、HIAが用機者になり、大阪国際空港（伊丹）から韓国・大邱（テグ）国際空港間にオウンユースチャーター（アシアナ航空）を手配した。</li> <li>○草の根交流の展開 「日本語を学ぶ現地学生と交流し、草の根交流の大切さがあらためて実感できた」など、政治情勢が冷え込んだ“こんな時期”だからこそ、草の根レベルでの交流の機会が実現できたことに意義が有るとの高い評価を得た。</li> </ul>

**ウ 中国・海南省**

**【実施状況】**

兵庫県と海南省の友好提携25周年を記念して現地で開催される周年記念行事へ参加して、現地での草の根交流を目的とした県友好訪問団に参画



写真：記念レセプション



写真：兵庫友好庭園

**【事業評価】**

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○訪日日時 11月23日～11月27日（全5日間）</li> <li>○参加者数 12名（計画10名）</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県民交流団員による交流の実施 海南省政府主催の記念レセプションへ参加し、海南省政府関係者との交流を行った。また、海南省の協力のもと、有馬の観光や兵庫県の水産物の販路拡大について商談会を開催してPR活動を行った。さらに、兵庫県と海南省との友好のシンボルである兵庫友好庭園の視察や、日本語を学ぶ学生による街案内などの交流を通じ、海南省の文化への理解を深めるとともに、草の根の交流を展開した。</li> <li>○草の根交流の展開 「普通の旅行では体験できない事を色々経験させて頂きました。良い思い出になりました。ありがとうございます」、「地元の方との交流ができた」、「訪問団の中でも交流が持てて良かった」などの感想が寄せられた。</li> </ul>

#### ④ ひょうごホームステイ受入事業(27 決算額 330千円)

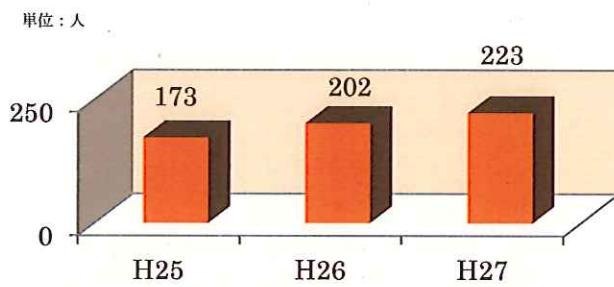
##### 【実施状況】

安全・安心にホームステイ受入が可能となるシステムを構築

写真：ホストファミリーとの交流



表：登録家庭数推移



##### 【事業評価】

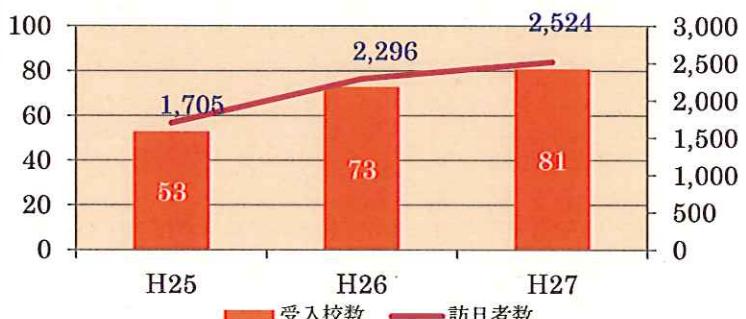
実績	○ホームステイ等受入コーディネートの実施 ・受入人数 119名 (受入家庭数延べ 86家庭) ・登録家庭数 223家庭 (26 202家庭)
	○ALTホームステイ事業 ・3月12日～13日 11名 (26実績 11名)
評価	○受入者数（ホームステイの受入依頼者数）の減少が課題 広報紙ComeHIA等でPRに努めたところ、ホームステイボランティア登録家庭数は増加しているが、受入者数は前年より減少した。今後も様々な機会を捉えてホームステイの機会を創出し、草の根交流を推進していく。

#### ⑤ 訪日教育旅行の誘致促進・学校交流支援(27 決算額 6,707千円)

##### 【実施状況】

若年層の交流拡大によるリピーターや兵庫のファンづくり、国際理解・国際交流の推進を目指し、訪日教育旅行における学校交流等の受入を実施

表：受入校及び訪日者推移



写真：受入校との記念撮影

##### 【事業評価】

実績	○受入校／訪日人員 81校／2,524名
	○安定した受入人数・件数
評価	全国第4位の受入数であり、高い状態の受入が続いている。誘致・促進のため、関係機関を含めた今後の一層の努力が必要である。

	<p>○全ての学校種別で学校交流の実施 公立・私立を問わず幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・高専・大学・専門学校の全ての学校種別で、訪問校受入校とともに満足できる交流が実施できた。</p> <p>○学校交流を通した国際交流の促進 学校交流から姉妹校交流、相互訪問や海外修学旅行に発展する等、国際交流・国際理解教育が着実に進展し、裾野が拡大している。</p> <p>○様々な交流の実現 淡路島民泊事業に加えて、海外の学校とのスカイプ交流や児童作品交換交流、スポーツ交流等によって交流の輪が拡大している。</p>
--	---

## ⑥ 海外における兵庫県のPR促進事業(27 決算額 7,106千円)

### 【実施状況】

5つの海外事務所において積極的にメディアを活用するとともに、展示会等に参画するなどして、兵庫県のPRを実施



左：香港フリーマガジン  
掲載記事  
右：パース観光セミナー  
商談会

### 【事業評価】

実績	<p>○5つの海外事務所において、年度を通じて兵庫県のPRを実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現地フリーマガジン等に兵庫県産品や県内観光スポットの情報を提供し、兵庫県の魅力をPR</li> <li>・観光セミナーや各種展示会において県内観光についてPR</li> <li>・国内外のラジオ出演を通じて海外事務所の活動を紹介</li> <li>・積極的に活動を記者発表することにより新聞等にとりあげてもらい、事務所の活動をPR</li> </ul>
評価	<p>○現地メディアを活用した本県PRの実施</p> <p>時機を捉えたトピックスをフリーマガジンなど各種メディアに提供することにより、県の活動のPRを実施している。</p> <p>香港経済交流事務所の例では、メディアを活用した兵庫食材ブランド発信を強く意識しており、メディア対象の試食会を実施し多くの記事・情報誌に取り上げてもらうなど、県海外事務所のプレゼンスを高めた。</p> <p>「クールジャパン」等に海外の注目が集まる中で、海外事務所の活動を通じて構築した現地人脈等を活用し、さらなる現地での積極的な本県PRを実施した。</p>

⑦ “魅力 Hyogo” 発信事業（兵庫の観光資源発掘事業）(27 決算額 3,691 千円)  
【27 新規】

【実施状況】

県内留学生等外国人県民を対象に、地域との国際交流により相互理解を深めるとともに、体験した“兵庫県の地方の魅力”をそれぞれの母国語により HIA の Blog 「The Best of Hyogo」への投稿などにより情報発信を行い、その情報を SNS などから拡散することにより国内外の外国人観光客の誘客による地域創生を支援



写真：スノーシュートラベル（香美町）



写真：いちご狩り体験（西脇市）

【事業評価】

実績	○交流事業の実施 第1回：香美町 1月23日（土）～24日（日）22名 第2回：西脇市 2月13日（土）～14日（日）30名 ・HIA ブログへの掲載等 事業実施後、参加者が母国語（9ヶ国語）により体験記を HIA の ブログへ掲載した。
評価	○外国人県民の誘客による地域創生へ向けた取り組み 当該市町との緊密な連携により、地域の魅力が体験できるバスツアー を実施した。そして、各参加者の母国語による魅力体験記を SNS との連携により拡散させることにより、兵庫の地域魅力情報を各母国 語圏へ直接発信することができた。

⑧ ひょうごトルコ友愛基金による支援(27 決算額 395 千円)

【実施状況】

平成 11 年トルコ北西部大地震の際に県民から寄せられた義援金をもとに設立された「ひょうごトルコ友愛基金」を設置して以来、青少年交流事業等の実施により大きな成果を得たが、引き続きトルコの地震防災対策充実のために支援する「ひょうご・トルコ地震防災対策プロジェクト」の連絡調整を兵庫県立大学と連携しながら実施

【事業評価】

実績	○サドクラル土日基金理事長とアジャル中東工科大学校長を招聘し、「防災協力セミナー」を開催 ・時期 4月17日 ・会場 兵庫県立大学防災教育センター ・参加者 100名
評価	○新プロジェクト始動による人材交流等 HIA が土日基金の窓口として、兵庫県立大学と連携し、防災協力 セミナーを開催した。今後は、ひょうご技術研修員制度を活用した、 次世代の人材育成を検討する。

## ⑨ 草の根の国際交流事業の推進(27 決算額 1,554千円)

### 【実施状況】

協会事業・活動への支援組織である兵庫県国際交流協会友の会会員を中心に、県民が主体となった多様な草の根国際交流事業を実施



単位：人



### 【事業評価】

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会員数 274名</li> <li>○食文化交流教室（計画 年3回）           <ul style="list-style-type: none"> <li>(ブラジル料理) 6月25日 60名 (イタリア料理) 8月31日 42名</li> <li>(ドイツ料理) 11月27日 46名</li> </ul> </li> <li>○オックスブリッジ交流事業           <ul style="list-style-type: none"> <li>英会話教室 7月21日～24日 延べ78名</li> </ul> </li> <li>○バスツアー（篠山） 10月17日 43名</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○友の会を中心とした草の根活動の推進           <ul style="list-style-type: none"> <li>実施した事業はどれも定員を上回る人気となった。</li> </ul> </li> <li>今後も、県民が主体となった草の根の国際交流活動を推進するとともに、「友の会」を中心とした国際交流に関心のある協会の良き支援者の輪を広げていく。</li> </ul>

## (2) 知的交流の推進

### ① 国際協力セミナー等の開催(27 決算額 347千円)

### 【実施状況】

国際協力の専門家、県内N G Oの活動家や青年海外協力隊O B等を講師に招き、国別・テーマ別のセミナーやフォーラムを開催

### 【事業評価】

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○時期 7月4日 40名、3月12日 113名</li> <li>○内容 「国際協力を哲学する」 (7/4) 「キーワードで知るアフリカ」 (3/12)</li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○県民の国際協力への理解の促進           <ul style="list-style-type: none"> <li>大学生から高齢者まで幅広い年齢層の参加があり、県民に国際協力について理解を深める機会を提供できた。</li> </ul> </li> <li>○J I C Aとの連携の強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>J I C Aとの連携事業であり、定期的に実施することにより当協会とJ I C Aとの緊密な協力体制を築くことにも寄与している。</li> </ul> </li> </ul>

## ② オックスブリッジ英語サマーキャンプの実施(27 決算額 3,175千円)

### 【実施状況】

オックスフォード大学及びケンブリッジ大学の学生を県内大学・高校等に派遣し、英会話授業や国際交流事業を実施



写真：ウェルカムパーティーの様子

単位：人



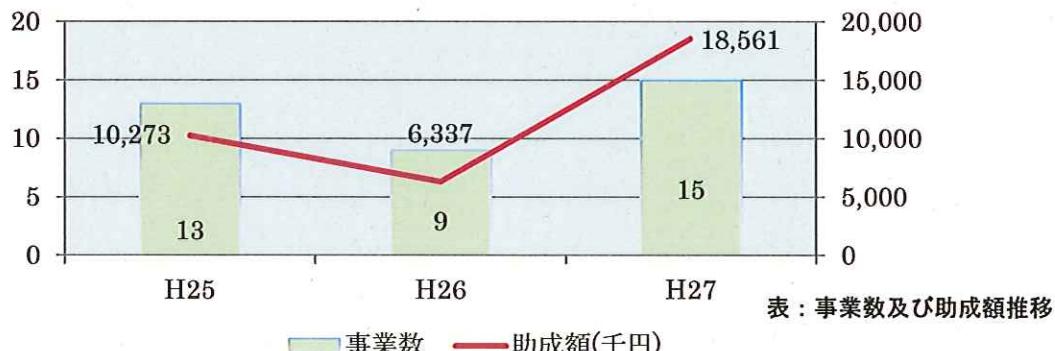
### 【事業評価】

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○参加者 延べ224名 (計画 210名)</li> <li>○実施期間 7月15日～8月15日</li> <li>○受入団体／受入学生 11団体／12名</li> </ul>
評価	<p>○受入人数、団体数が拡大 県内大学や高校での国際理解を深める事業としても定着してきており、27年度は過去最大の人数を受け入れた。来年度以降の受入希望の増加も見込まれている。</p> <p>また、市町国際交流協会においても受け入れ希望が増加しており、国際交流団体のネットワーク化にも貢献している。将来的には、受け入れ団体のニーズに見合うオックスブリッジ学生数を確保できるかが課題となる。</p>

## ③ 国際会議開催への助成(27 決算額 18,561千円)

### 【実施状況】

県立淡路夢舞台国際会議場等での国際会議誘致を促進するため会議開催費の一部を助成



### 【事業評価】

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○助成件数：15件</li> <li>○助成金額：18,561千円</li> </ul>
評価	<p>○新制度活用による国際会議件数の増加 参加者送迎用のバス代助成など、立地上の不利等をカバーするため平成26年10月に追加した新たな助成制度の効果が現れ、減少傾向にあった開催件数が向上に転じた。厳しい誘致競争が続くなか、引き続き、国際会議誘致を支援していく。</p>

#### (4) 国際会議場の活性化への支援(27 決算額 500千円)

##### 【実施状況】

淡路夢舞台国際会議場の活性化を図るため、国際会議場を会場に各種会議、セミナー等を共催により開催



写真：こころづくり絵画教室の様子

##### 【事業評価】

実績	○こころづくり絵画教室の実施 ・実施日等 10月18日 参加者389名（年間計画1回、600名）
評価	○次代を担う子どもたちの交流 外国籍8名を含む389名が、さわやかな秋晴れのもと広い夢舞台の各所で思い思いの絵を描き上げると同時に、絵画を通じてお互いの文化などを相互に学べる機会となった。

#### (3) 国際理解の促進

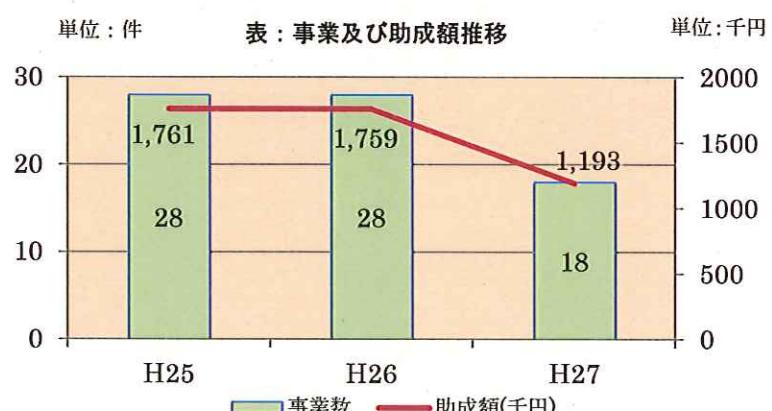
##### ① 民間国際交流事業への助成(27 決算額 1,208千円)

##### 【実施状況】

県民レベルの国際交流活動を育成・奨励するため、NGO、NPO等の非営利活動団体が行う先駆的・先導的な国際交流事業を助成



写真：防災運動会



##### 【事業評価】

実績	○助成件数 18件 ○助成金額 1,193,541円
評価	○県内各地で県民主体の国際交流・多文化共生事業が展開 全県から公募した21事業を採択したが、3事業が取りやめとなつたため18事業に助成した。県内各地で県民主体による友好交流や外国人支援を目的とした事業が実施されており、草の根レベルでの取り組みを促進する一助となっている。

	資金力の弱い団体の活動に役立つ一方、リピーターも多く、県内各地において新たな事業が立ち上がり、多種多様な取り組みが実施される後押しができるよう、制度の周知と利用促進が課題である。
--	---

## ② 国際交流団体等ネットワークの構築(27 決算額 515千円)

### 【実施状況】

当協会が中心となり、各地域の国際交流に携わる団体・グループ間の連携の強化を促進するとともに、協働で諸課題に対処する国際交流団体等のネットワーク事業を実施



写真：ひょうご国際交流団体連絡協議会総会



写真：避難所体験訓練

### 【事業評価】

実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ひょうご国際交流団体連絡協議会総会の実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：6月5日</li> <li>・参加者：90名</li> </ul> </li> <li>○地域別意見交換会等の実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>県内6地域において意見交換会及び講演会を実施 (神戸、阪神・丹波、東播磨、西播磨、但馬、淡路)</li> </ul> </li> <li>○防災関連事業の実施           <ul style="list-style-type: none"> <li>県・播磨広域合同防災訓練に合わせ、避難所体験訓練及びワークショップを実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施日：8月30日</li> <li>・参加者：35名 (8カ国)</li> <li>・場 所：兵庫県広域防災センター</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul>
評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市町国際交流協会等とのネットワーク強化           <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度に設立したひょうご国際交流団体連絡協議会の運営を行うことで、県内市町国際交流協会など37団体との緊密なネットワーク強化を図った。27年度は地域別意見交換会にあわせた講演会、避難所体験訓練により先進的な取組みを会員団体に紹介し、県内の国際交流協会の活動を支援した。今後も会員団体のニーズを見極め、さらなる連携強化に資する事業を企画していく。</li> </ul> </li> </ul>

## ③ ひょうご国際交流キャラバンプロジェクト(27 決算額 207千円)

### 【実施状況】

国際交流員によるイベントを県内各地で開催することにより、県民に異文化に触れてもうるとともに、市町国際交流協会等とのネットワークを強化



写真：イベントの様子

**【事業評価】**

<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○実施回数 9回 相手方：市町国際交流協会、小学校等</li> </ul>
<b>評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○兵庫県国際交流員が地域で活躍  兵庫県国際交流員が自ら県内各地へ赴き実施する本プロジェクトは各地で人気の事業となっている。27年度は国際交流員の交代時期であったこともあり実施数は前年度より減少しているが、国際交流員にとっても県民と直接触れ合う貴重な機会であり、本事業を共同で実施する市町国際交流協会にとっても、連携の貴重なツールの一つとなっているので、今後も継続していきたい。</li> </ul>

**(4) 地域国際交流団体連携支援事業(27 決算額 927千円)**

**【実施状況】**

「ひょうご国際交流団体連絡協議会」の会員団体が他の会員団体や域外の団体と連携して実施する広域的な各種事業に対して助成金（対象経費の1/2）を交付し、ノウハウや情報の共有等のネットワークの推進



写真：助成対象事業（新温泉町）の様子

**【事業評価】**

<b>実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○第1次募集助成対象 佐用町、稻美町 第2次募集助成対象 新温泉町、淡路市</li> </ul>
<b>評価</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○助成対象は多様化しているが、実績数が課題  27年度より、地域団体間の連携のみならず、大学との連携事業を助成対象として採択し、連携の幅を広げた。また、外国人県民向けの事業についても、多文化共生社会の推進に寄与する事業の申請があったため、新たに採択した。  その一方、前年度より課題となっていた実績数については前年と同数に留まったため、今後はより活用しやすい助成制度となるよう必要な検討を行うこととしている。</li> </ul>

## ⑤ 交流の集いの開催(27 決算額 1,097千円)

### 【実施状況】

友の会会員が参画と協働を基本に、兵庫県の各地域の文化や、外国の社会や文化芸術を学びながら、外国人県民や外国人の団体と交流を図る「交流の集い」を開催



写真：交流の集いの様子

### 【事業評価】

実績	○参加者 146名 (内友の会 74名) (在関西領事館、国際交流団体、外国人コミュニティ等) ○実施日 3月6日
評価	○県民一人ひとりが主役の国際交流の推進 県内の外国人コミュニティや二国間団体、関西領事団と連携を深め、県民の国際交流を促進する機会を提供した。友の会会員が国際交流関係者と幅広く交流できる機会として、国際性の涵養に有意義である。

## ⑥ 海外移住と文化の交流センターへの支援(27 決算額 1,001千円)

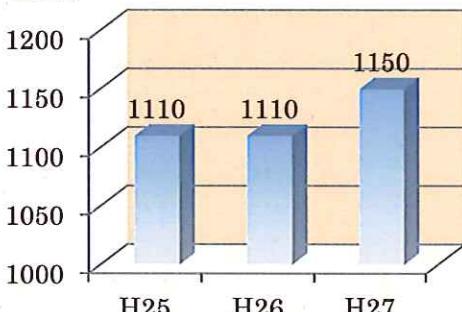
### 【実施状況】

神戸市立海外移住と文化の交流センターにおいて、在住外国人が日本人へ自国文化を発信し交流する事業をN P O団体等との協働で実施し同センターを支援

写真：ひょうご子ども交流会



単位：人



表：多文化交流フェスティバル参加者数推移

写真：ブラジル・日本子どもの絵の交流展

### 【事業評価】

実績	<p>○多文化交流フェスティバル          •「ブラジル・日本の子どもの絵の交流展」 6月13日～8月30日              出展作品数230点 参加者約850名          •「サロン・カーナヴァウ」 2月7日～2月28日 参加者約300名</p> <p>○ひょうご子ども交流会          「ハーフ映画鑑賞会」 8月1日 60名          「すばらしい外国の文化を学ぼう」 9月12日 112名          「ブラジル民話の紹介」 11月28日 83名</p>
評価	<p>○ブラジル文化の発信と交流を通し、移住センターの利用促進に寄与          NPO法人関西ブラジル人コミュニティCBKと共に、「ブラジル・日本の子どもの絵の交流展」を開催したほか、ブラジル最大の祭りであるカーニバルを模したイベントを開催。在住ブラジル人や近隣の住民が集い、ブラジル文化を体験し交流する場となっているほか、3回にわたる「ひょうご子ども交流会」を実施し、センターの利用促進につながった。</p>

### ⑦ 広報紙 (Come HIA) の発行(27 決算額 1,253千円)

#### 【実施状況】

国際交流・協力に関する各種情報及び協会の活動状況等を掲載した広報紙「Come HIA」を発行



図 : Come HIA vol.86-88

#### 【事業評価】

実績	<p>Come HIA          ○発行回数 年3回（8月、11月、3月） （計画 年3回発行）          ○発行部数 各4,500部          Come HIA（電子版）          ○発行回数 41回</p>
評価	<p>○メディア特性に応じた情報発信          「ComeHIA」の発行は従来4,000部であったが、協会事業に興味を持つ方の増加等に伴い、27年度より4,500部に増刷し、協会の重点的な取組みや各種情報等を分かりやすく提供している。なお、紙媒体は手に取りやすく分かりやすい反面、発行までに時間がかかるため、即時的な情報発信には、ポケ（HIAHP掲載「ComeHIA電子版」）を多用する等、メディア特性に応じた情報発信を行っている。</p>

## ⑧ 関係団体への支援

### 【実施状況】

EU協会や日本国際連合協会兵庫県本部、兵庫県海外移住家族会の活動を支援することで、国際問題や国際協力への関心を喚起するとともに、新たな交流のきっかけづくりを実施

### 〈兵庫EU協会〉



写真：前駐ウクライナ日本国大使講演会



写真：留学生交流プログラム in 篠山

### 〈日本国際連合協会兵庫県本部〉



写真：模擬国連会議関西大会



写真：留学生プログラム in 豊岡

### 【事業評価】

実績	○兵庫EU協会への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・駐日ハンガリー特命全権大使講演会 (6月12日 参加者数71名)</li> <li>・総合セミナー (8月13日 参加者数87名)</li> <li>・前駐ウクライナ日本国特命全権大使講演会 (10月7日 参加者数229名)</li> <li>・ハーバード大学教授講演会 (11月25日 参加者数41名)</li> <li>・留学生交流プログラム in 篠山 (11月21~22日 参加者数19名)</li> <li>・留学生交流プログラム in 豊岡 (2月6~7日実施 参加者数8名) (日本国際連合協会兵庫県本部と共に開催)</li> </ul>
	○日本国際連合協会兵庫県本部への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・留学生交流プログラム in 篠山 (再掲)</li> <li>・留学生交流プログラム in 豊岡 (再掲)</li> <li>・映画DAY「国際協力を哲学する」 (7月4日 参加者数40名) 「ペルシャ猫を誰も知らない」 (11月14日 参加者数50名)</li> <li>・模擬国連開催の支援</li> </ul>
	○兵庫県海外移住家族会への支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・(一財)日伯協会 三井専門調査員による講演会「海外移住の歴史について」 (11月8日 参加者数30名)</li> </ul>
評価	○EUや国連活動の支援 <p>講演や映画上映を通して、EUや国連活動等の活動について広報し、県民に国際問題や国際協力について考える場を提供している。</p> <p>また、留学生向け交流プログラム（日本人学生も対象）の実施により、特に国際舞台で活躍できる青少年の育成、意識啓発にも注力している。</p>

### 3 人づくりへの貢献

外国人留学生への支援や外国人研修員の受入等国際社会を担う次代の国内外の人材育成を進める事業を実施した。

#### (1) 外国人留学生の支援

- ① 私費外国人留学生奨学金の支給(27 決算額 67,543 千円)

##### 【実施状況】

留学生の生活の安定を図り学習活動を支援するため、私費外国人留学生に対し月額3万円の奨学金を支給



写真 左：受給者証交付式典 右：就活セミナー

##### 【事業評価】

実績	○支給額 月額3万円 ○支給人員 195名（一般枠延べ150名、アジア新興国枠延べ45名） (計画 一般枠150名、アジア新興国枠50名)
評価	○学業成就への支援の成果 「奨学金受給により、学業に専念できる」「留学生活で得た日本語能力を活かして母国と日本の架け橋になりたい」「協会主催の説明会を通じて、兵庫県のことをより深く知ることができた。世界に兵庫の魅力をアピールしたい」などの声が寄せられ、学業成果につながるとともに、今後の国際交流を担う人材の育成に寄与している。 ○就職活動支援の実施 奨学金受給者を対象に「奨学金受給者 就活セミナー」を大学コンソーシアムと共に開催。留学生の就職活動に一定の成果があることを関係団体が認識を共有。引き続き大学コンソーシアムの主体的な取組みとの連携を図る。

#### ② 留学生住宅機関保証推進システムの推進

##### 【実施状況】

留学生の民間住宅への円滑な入居を進めるため、大学等が賃貸借契約の保証人となる機関保証の実施に当たって必要な資金を貸付

##### 【事業評価】

実績	○貸付先 留学生版安全・安心ネット連絡会 ○貸付金額 100万円
評価	○円滑な機関保証の実施 27年度内での利用実績はなかったものの、加盟各大学が円滑に機関保証を行うことに貢献した。

## (2) 人材育成

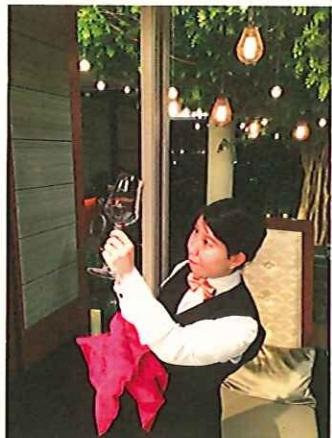
### ① ひょうご海外研修員の受入(27 決算額 5,248千円)

#### 【実施状況】

友好州省をはじめとする諸外国から研修員を受入れ、研修機会を提供することにより課題解決型の交流を実施



写真：研修了証の授与  
(ロシア・ハバロフスク州)



写真：イベント会場での研修風景  
(アルゼンチン)

#### 【事業評価】

実績	○受入人数 7名 (計画 6人)	
	国名	受入期間
	ロシア・ハバロフスク地方	10月9日～11月1日
	西オーストラリア	8月4日～9月27日
	中国・海南省	9月29日～12月25日
	中国・海南省	9月29日～12月25日
	アルゼンチン	12月1日～2月26日
	フランス・セーヌ・エ・マルヌ県	7月7日～10月2日
評価	○技術の向上に資する研修プログラムの実施	
	今年度は最長3ヶ月の研修を通じ、それぞれの技術の向上、人脈を広げることに大いに資する研修プログラムを実施できた。また研修先からも「受入を通じ、受入れた自分たちにとっても新鮮な刺激になった」、「逆に飛び込む勇気がもらえた」などの謝辞を得ている。 また、アルゼンチン研修員は、スペイン語を母国語とする地域の母語教育団体の活動へ参加するなど、その能力を活かした一般県民との交流の機会を創出し、草の根交流の発展にも貢献した。 しかし、研修員の日本語能力不足や研修分野に課題もあることから、今後はその人選にあたり改善に努める。	

### ② セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流の促進(27 決算額 他事業で計上)

#### 【実施状況】

セーヌ・エ・マルヌ県との人物交流を行い、両県民間の相互理解と友好関係を促進

写真：現地小学校における日本文化紹介授業の様子



### 【事業評価】

実績	<p>○日仏交流コーディネーターの派遣            ・派遣期間 平成27年10月～平成28年9月            ・派遣人数 1名（計画1名）            ・派遣先 セーヌ・エ・マルヌ県内の教育機関及び、セーヌ・エ・マルヌ県 経済振興公社（SMD）ほか</p>
評価	<p>○両県間の相互理解の促進            セーヌ・エ・マルヌ県からの研修員による兵庫県内企業等での研修活動や、兵庫県から派遣する日仏交流コーディネーターによる兵庫県情報（経済、投資、観光、文化）等の発信が、両県間の相互理解を促進している。</p>

### ③ 外国語指導助手(ALT)を活用した人材の育成(27 決算額 兵庫県教育委員会で計上)

#### 【実施状況】

外国人指導助手(ALT)を活用して、高校生の海外留学支援や姉妹校等との国際交流の推進を図り、国際的に活躍できるグローバルな人材を育成

## 4 その他事業

### ① 篠原住宅管理事業(27 決算額(賃貸収益) 18,640千円)

#### 【実施状況】

兵庫県が所有する旧オーストラリア総領事公邸を協会が借り受け、関西地域で活動する外国人ビジネスマン等への住宅物件として賃貸し、国際交流施設として有効活用

実績	<p>○所在地 神戸市灘区篠原本町            ○敷地面積 約2,400m<sup>2</sup>            ○建物 鉄筋コンクリート造2階建 3棟 (1,374 m<sup>2</sup>)</p>
----	---

### ② 外国人児童生徒の居場所づくり [再掲]

### ③ 外国人県民の居場所づくり：地域日本語教室支援 [再掲]

### ④ セーフティネットとしての地域日本語教室開設事業 [再掲]

### ⑤ 地域日本語教室のセーフティネット機能充実事業 [再掲]

### ⑥ 外国人県民生活サポート活動の支援 [再掲]

### ⑦ 草の根の国際交流事業の推進 [再掲]

### ⑧ 地域国際交流団体連携支援事業 [再掲]

### ⑨ 交流の集い開催事業 [再掲]

### ⑩ 兵庫県海外移住家族会事業 [再掲]